

～子供たちの夢をかなえる教師になる！～

東京教師養成塾通信

発行日 令和4年8月5日<第5号>
発行元 東京都教職員研修センター
研修部教育開発課
電話 03-5802-0318
ホームページ <https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/10jidoi/ryosei/index.html>

●第9回教科等指導力養成講座

令和4年7月2日（土）教職員研修センターにて、第9回教科等指導力養成講座を実施しました。

大久保主任指導主事からは、「5月、6月と指定校を訪問し、子供たちの理解を促すために教材・教具を工夫した授業を多く参観した。ぜひ今後も学習指導案どおりに授業をすることに固執せず、子供たちの学びを大切にすることを念頭に学び続けて欲しい。」との話がありました。

○ 講話「塾生に期待すること」（共通）

坂本 教喜教育開発課長から、「塾生に期待すること」との題で講話がありました。求められる教師の姿として、「学び続ける」ことなどについて話がありました。



塾生に期待すること

○ 講義・演習「生活②」（小学校コース）

東京教師養成塾教授から、「生活」についての講義・演習がありました。塾生は、気付きの質を高める学習活動の検討を通して、生活科の教科の特質や授業づくりのポイントについて理解を深めました。



生活②

○ 講義・演習「自立と社会参加」（特別支援学校コース）

東京教師養成塾教授から、自立と社会参加についての講義がありました。特別支援学校学習指導要領の記述を踏まえながら、卒業後の進路や支援について学び、キャリア・パスポートの作成について演習に取り組みました。



自立と社会参加

○ 講義・演習「一人1台端末の効果的な活用の在り方」（共通）

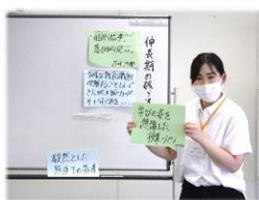
東京都教職員研修センター福田 順子統括指導主事と関 聡司指導主事から、講義と演習がありました。一人1台の学習者用端末の活用に関して、背景と端末操作の実際を学びました。



一人1台端末の
効果的な活用の在り方



班別協議



【塾生の感想より】

- 塾生に期待することの講話では、改めて教師が学び続けることが大事な崇高な職業であることを学んだ。そのために、東京都は研修の機会が充実しているので、来年の初任者研修やその他の研修を主体的に取り組み、自分の力としていきたい。
- 生活科は、気付きを自覚させたり、理科や社会、総合的な学習の時間などに繋がる気付きの視点をもたせたりする教科であると学んだ。
- 特別支援におけるキャリア教育は、児童自身が自分でできることを理解し将来に生かして行くことが大切だと分かった。児童と関わる上で意識して支援していきたい。
- 一人1台端末の効果的な活用方法を実際に自分も体験しながら学ぶことができた。タブレット端末をうまく使いこなすことができない児童も多い中で手段が目的化してしまわないように気を付けながらも、どのようにしたら今回のような授業が成り立つのか学習規律の面からも考えていきたいと思った。

●第10回教科等指導力養成講座

令和4年7月24日(日)、教職員研修センターにおいて、第10回教科等指導力養成講座を実施しました。

小野 昌徳統括指導主事からは、最後の講座を受講するにあたり、これまで支えてくださった方々への感謝を忘れないように、との激励の言葉がありました。

○ 講義・演習「特別活動②」(小学校コース)

東京教師養成塾教授から、学級活動(2)及び(3)についての講義・演習がありました。自発的、自治的な活動である学級活動(1)との違いを踏まえながら、よりよい人間関係の形成について児童の意識を高める発問を考える演習を行いました。



挨拶



特別活動②

○ 講義・演習「社会②」(小学校コース)

東京教師養成塾教授から社会についての講義がありました。授業のゴールをイメージする、教材・資料を学習に位置付ける等、問題解決的な授業をするために大切なことを学びました。



社会②

○ 講義・演習「教材づくり②」(特別支援学校コース)

十文字学園女子大学 信方 嘉幸 講師からパソコンを用いた教材づくりについての講義・演習がありました。塾生たちは、それぞれの得意を生かし、子供たちが楽しく学ぶことのできる、実態を踏まえた教材を制作しました。



教材づくり②

○ 学び続ける教師として(共通)

10回の講座の締めくくりとして、大久保 順子 主任指導主事より講義がありました。講義の前半では、今後教師として必要な基礎的教養について学びました。1年間の学びを振り返りつつ、「子供のための教師になる」、「正直で謙虚な教師になる」、「学び続ける教師になる」ための心構えについて、確認しました。



班別協議(伸長期の振り返り)



学び続ける教師として

【塾生の感想より】

- 「石の上にも三年」から、私たちは色々な方に支えられているということを改めて感じた。学んだことを次に繋げる。
- 私は指定校での社会科の授業観察で、「どうしてこんなにも教師が話すことなく、児童が主体的に学んでいるのだろう」と不思議に思っていた。今日の講座を通して、つかむの時点で児童に事実を掴ませるよう資料の提示を工夫すれば良いことが分かった。実践したくなった。
- ICTを活用した授業作りを体験し、とても楽しかった。この学びを自分のものとしてできるように実践したい。
- 本日は伸長期の振り返り発表会があり、班員のこれからの決意等を聞くことができた。これで教科等指導力養成講座は終わってしまうが、残り少ない特別教育実習に向けて、更に気を引き締めて、取り組んでいきたい。
- 今回の講座を通して、私は、いつまでも謙虚な姿勢を忘れず主体的に学び続ける教師になりたいと強く感じた。また、子供たちに常に寄り添い子供たちと共に成長する姿勢をもった教師になりたい。この理想の教師像をもち続け、実現に向けた努力を続けていきたい。